

2019 年度第 2 回理事会 議事録

日 時：2019 年 7 月 23 日（火）15:00～17:00

場 所：医科器械会館 3F 特別会議室（東京都文京区本郷 3-39-15）

出席者：矢富 裕理事長、東 竜一郎副理事長

青木 郁香、臼杵 尚志、加藤 伸彦、加納 隆、川本 武、小林 直樹、酒井 順哉、
住谷 昌彦、高階 雅紀、中島 章夫、中野 壮陸、根本 裕司、平田 哲、深柄 和彦、
福田 修一、増田 順、松田 和久、松原 一郎、南 正人、安原 洋の各理事
本田 宏志監事

欠席者：植竹 茂、小西 賢三、林 正晃の各理事（委任状）

玉井 久義監事

事務局：岩田 誠、上野 誠、寺嶋 秀之、桑原 祐子

1. 開会宣言、議事録の確認及び議事録署名人の指名

冒頭、理事長が慣例に従い、議長として開会を宣した。

- 1) 議長より、本日は、理事 25 名の内過半数の 22 名が出席、定款第 36 条により本理事会は有効に成立する旨の報告があった。
- 2) 議長より、議事録の 2019 年度第 1 回議事録並びに 2019 年臨時理事会議事録の内容確認の要請あり、出席者全員により確認された。
- 3) 議長より、本会の議事録署名人は、定款第 37 条により理事長及び本日出席の本田監事を指名する旨の報告があり、出席者全員異議なくこれを了承した。

2. 2019・2020 年度各委員会委員長・委員の承認(矢富理事長)

理事長より、2019 年度第 2 回理事会議案資料（以下、「資料」）に基づき、2019・2020 年度の各委員会委員長・委員の選定について提案があり、審議の結果、全員異議なく提案通りこれを承認した。

3. 委員会関連事項

1) 総務委員会（東委員長）

(1) 会員数の推移（入会者の承認・退会者の確認）

総務委員長より、資料（名簿別添）に基づき会員数の推移について報告があった。本日現在の会員数は、名誉会員 9 名、功労会員 0 名、正会員 6448 名、企業会員 298 社。前年同期比で名誉会員 2 名、正会員が 567 名増加、企業会員が 2 社減少した旨報告あり、出席者全員これを了承した。2019 年度第 1 回理事会にて分かりづらいと指摘があった会員数推移の資料は今回修正され、出席者一同これを確認した。

(2) 個人正会員の入会について（推薦なし、個別承認分）

推薦無し新規個人正会員として 2 名の入会申込があり、審議した結果、個人会員とし

ての入会を出席者一同承認した。

(3) 協賛・後援・共催依頼実績

協賛・後援・共催依頼実績は、資料に基づき、協賛依頼 4 件、後援依頼 7 件(新規 1 件含む)、共催依頼 1 件と報告され、出席者一同これを追認した。

(4) 功労会員・名誉会員推薦に関する内規について(承認)

総務委員長より、資料に基づき一般社団法人日本医療機器学会の「功労会員・名誉会員推薦に関する内規」制定についての主旨及び概要説明あり。審議した結果、第 3 条を「第 2 条に基づき総務委員会による検討を経て、理事会にて審議・決議する」と修正し、出席者一同これを承認した。

2) 将来構想委員会 (安原委員長)

将来構想委員会委員長より、引続き学会知名度を高めていく活動を行う旨報告があった。

3) 編集委員会 (住谷委員長)

編集委員会委員長より、引続き学会誌の充実を図っていく旨報告があった。

4) 学術委員会 (安原委員長)

特に報告無し

(1) 安全対策委員会 (南委員長)

特に報告無し

(2) クリニカルエンジニアリング委員会 (酒井委員長)

クリニカルエンジニアリング委員会委員長より、資料に基づき 6 月に開催された「2019 年度(第 1 回)クリニカルエンジニアリング「在宅医療機器の保守管理の現状と課題」」について報告があった。

【臨床 ME 専門認定士合同認定委員会】(酒井委員長)

酒井委員長より、2018 年(平成 30 年)度第 4 理事会で指摘のあった臨床 ME 専門認定士認定者名簿(新規)の認定日(1 月 1 日)と認定委員会開催日並びに両理事会での承認日に齟齬がある点については、未だ一向に議論が進んでいない状況と報告あり。本日新たにクリニカルエンジニアリング委員会委員長に就任した加納理事より、日本生体医工学会側に本件投げかけているが今のところ反応ない旨説明あり。後追いの認定は当理事会では少なくとも認められないこと、理事会で問題となった案件をそのままにしておく選択肢は無く何らかの形で解決策を考える必要があること、昨年臨床 ME 専門認定士合同認定事業に関する合意書、会則、認定基準を新たに作成し、臨床 ME 専門認定士合同認定委員会の運営体制も見直しているため、今後は同認定委員会の中で会則に則って議論を進めていく必要がある等、複数の理事より意見あり、本件、加納新委員長に合同認定委員会及び日本生体医工学会側と十分協議の上、次回理事会にて報告して貰うこととした。

(3) 機器と感染カンファレンス委員会(高階委員長)

委員長より、資料に基づき、次回第 29 回機器と感染カンファレンスを 2020 年 3 月 14 日(土)に大阪府堺市で開催予定との報告があった。

(4) 病院サプライ研究会(深柄委員長)

病院サプライ研究会委員長より、公募の結果、計 9 件(シンポジウム 5 件、パネルディスカッション 4 件)の応募があり、今後病院サプライ研究会としては公募を継続していき

い旨報告がなされた。

(5) メンテナンスマニュアル出版委員会(上寺委員会代理/安原学術委員長)

学術委員長より、従前通りの翻訳活動と、赤本、黄本の次版発行に向けて活動して行く旨報告があった。

5) 滅菌技師認定委員会(高階委員長)

滅菌技師認定委員会委員長より、例年通り第1種・第2種の滅菌技師認定資格並びに講習会開催に向けての準備を進めていること、また、本年10月に開催予定のWHFSS会議(オランダ:ハーグ)に、既に理事会で承認されている予算で、滅菌技師認定委員会委員の派遣を計画している旨報告があった。

6) 広報委員会(高階理事長)

広報委員会委員長より、出来るだけ早い段階でホームページの見直し検討を行いたい旨報告があった。

7) 国際委員会(東委員長)

(1) 2019AAMI 年次大会参加報告

国際委員会委員長より、口頭で6月に開催された2019AAMI年次大会への参加報告がなされた(詳細は8月学会誌に掲載予定)。前回大会より導入された検索可能な学会大会用専用アプリは、内容が更に充実し大会参加者の利便性の向上に役立っており、今後益々進展していく方向にあり。日本でも既に幾つかの学会が活用開始していることから、本学会でも同アプリの導入・活用について事務局で検討することとした。

[ISO/TC198 国内対策委員会](東委員長)

委員長より「ISO/TC198のWG9」については、東京開催の実現性について、受け入れ体制・財務面を含め検討を継続していく旨報告があった。

8) 医療機器UDI標準化委員会(酒井委員長)

(1) 「医療材料アンケート調査」について

委員長より、6月に実施した「医療材料アンケート調査」の中間報告として、アンケート調査用紙を6月上旬に912施設に発送、156施設(17.1%)より534件(有効回答率9.8%)の回答を得て、現在回答内容を分析中との報告がなされた。

9) MDIC認定委員会(臼杵委員長)

(1) MDIC認定委員会活動報告

委員長より、資料に基づき、2019年度第12回MDIC認定セミナー(eラーニング)受講申込み、再受講(検定試験不合格者)の案内並びに2019年度MDIC更新ポイント取得セミナーの日程・会場について報告がなされた。

10) 事業体部会(根本部会長)

(1) 第94回大会併設展示会の結果報告等について

事業体部会長より、資料に基づき、展示会の結果について以下の通り報告がなされた。

- ① 収入33百万円、支出25.7百万円、展示会収支は7.3百万円のプラス。今回例年より多い4社よりホスピタリティスペース申し込みがあり収益増に貢献、また支出については事務局による起用業者相見積もり入手等、経費削減効果もあり、プラス収支となった。

- ② 参加登録者数 1032 名、延べ入場者数 6,395 名。参加登録者数は、前回大阪会場での開催時(2016 年)との比較で 16%増、延べ入場者数については、過去 10 年で 2 番目に多い動員数を得た。
- ③ UDI 特別展示、公開セミナー及び大阪医療機器協会との共催による医療機器マッチングコーナー等の企画展示はどれも多数の入場者を得て盛況、また賑わい感もあり、出展者並びに参加者にとってまずまず好評な展示会であったとの報告がなされた。

(11) 関係団体

- (1) (一財) 日本医科器械資料保存協会 (事務局)

特に報告無し

- (2) 日本医学会/日本医学会連合 (安原理事)

- ① 評議員 (担当 安原理事)
- ② 連絡委員 (担当 南 理事)
- ③ 用語委員 (担当 深柄理事)
- ④ 用語代委員 (担当 住谷理事)

管掌理事より、6 月 18 日開催の日本医学会連合 2019 年度定時総会において役員改選が行われた旨報告がなされた。

- (3) 日本臨床検査標準協議会 理事 (矢富理事長)

特に報告無し

- (4) (公財)医療機器センター 理事 (矢富理事長)

特に報告無し

12) 財務委員会 (植竹委員長欠席/事務局)

- (1) 2019 年 4 月 1 日～6 月 30 日の収支及び予算状況

事務局より、資料に基づき期首予算対比 4 月～6 月の実績推移について説明がなされた。

13) 利益相反委員会 (安原委員長)

特に報告無し。事務局より 2018 年分 (2018. 1. 1～2018. 12. 31) COI 申告書は全役員より提出された旨の報告がなされた。

14) 倫理委員会 (平田委員長)

特に報告無し

15) 滅菌管理業務検討委員会 (深柄委員長)

特に報告無し

4. 94 回大会の結果報告、及び今後の学会大会開催予定について

1) 第 94 回大会 (2019 年 6 月 13 日～6 月 15 日 : 大阪国際会議場) 結果報告

(臼杵大会長/事務局)

(1) 大会概要報告

臼杵大会長より、冒頭大会の無事終了にあたり協力いただいた関係各位に対し謝意表明があった。資料に基づき、全体としてメディカルショーも含めて活況であった大会との報告がなされた。

(2) 大会収支(速報ベース)

事務局より、学術集会の収入 19.4 百万円、支出 28.6 百万円、学術集会収支は 9.2 百万円の赤字。収入については、本年 3 月の予算比ほぼ一緒であるが、支出については各項目で予算対比少しづつ嵩上げされており、結果として支出について 3 月予算比 2.4 百万円悪化。今回初めて事前登録に bar code 管理を導入したが、同関連機材の費用が想定していた以上に掛かったのが一要因。次回大会では予算と大きな乖離が無いよう支出の管理を確り行っていく旨説明あり。結果として、大会全体収支（併設展示+学術集会）は、速報ベースで、1.9 百万円の赤字を見込む旨報告がなされた。

2) 第 95 回大会（2020 年 6 月 11～13 日：パシフィコ横浜-ノース）
（平田大会長）

大会長より、資料に基づき、第 95 回大会プログラム委員会委員の組成、旭川でのプログラム委員会幹事会（8 月 1 日）、並びに第 1 回プログラム委員会の開催（8 月 29 日）を予定している旨説明がなされた。

3) 第 96 回大会（2021 年 5 月 27～29 日：大阪国際会議場）
（高階大会長）
特に報告無し

5. 2020・2021 年度代議員選出について（矢富理事長・東総務委員長/事務局）

1) 選挙管理委員会の設置・委員の委嘱（承認）

議長より、代議員選挙細則第 5 条に基づき、恒例により選挙管理委員会を総務委員会メンバーの中から選出・委嘱することが諮られ、総務委員会メンバー 4 名（東委員長、安原委員、根本委員、花岡委員）と事務局長 1 名、計 5 名をもって選挙管理委員会を設置する旨の提案があり、出席者一同これを異議なく承認した。

2) 代議員選出フロー/スケジュールおよび代議員定数基準の確認

東選挙管理委員長より、資料に基づき、代議員選出フロー及び日程説明があり、出席者一同これを了承した。

3) 学会誌およびホームページ（会員サイト）での広告およびスケジュールについて（確認）

事務局より、資料に基づき、代議員選挙の公告並びにスケジュールについて説明があり、出席者一同これを確認した。

6. その他

1) 次回理事会の予定

(1) 2019 年度第 3 回理事会開催日時：2019 年 12 月 12 日（木）15:00～17:00（予定）

場所：医科器械会館 2 階 セミナーホール

年末役員懇親会開催日時：2019 年 12 月 12 日（木）17:30～19:30（予定）

場所：未定

(2) 2019 年度第 4 回理事会開催日時：2020 年 3 月 27 日（金）15:00～17:00（予定）

場所：医科器械会館 3 階 特別会議室

7. 閉会宣言（理事長）

その他の議題や質疑応答等がないことを確認し、議長が、16時25分閉会宣言をした。

以上

(議事録署名)

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長及び出席監事1名がこれに署名する。

2019年7月23日

議事録署名人

(矢富 裕 理事長)

議事録署名人

(本田 宏志 監事)